

令和5年度茨城県近代美術館運営支援協議会事業計画

茨城県近代美術館運営支援協議会は、茨城の文化芸術の創造を目指して運営される茨城県近代美術館を支援し、もって地域の振興に寄与することを目的に、次の事業を実施する。

(対象事業)

- 1 展覧会の開催
- 2 郷土作家等に関する調査研究
- 3 教育普及活動
- 4 その他目的達成に必要な事業

【令和5年度の主な事業計画】

区分	事業計画	予算(千円)
展覧会の開催	○ 土とともに 美術にみる〈農〉の世界 会期：2023年7月8日(土)～9月3日(日) 日本各地から選りすぐった約100点の〈農〉をめぐる作品を5つのテーマに分けた企画展に、パートナー企業からの支援金を充当して開催	2,000
	○ 企画展準備資金 次年度以降に開催する企画展のための準備資金	9,000
教育普及活動	○ 教育普及アートバス事業 (概要) 県内の小学校が、教育活動として近代美術館の展覧会鑑賞やハロー!ミュージアム、アートツアーや館が用意するワークショップ体験等を目的に来館する場合、当該活動を実施するために必要なバス借り上げ料等を助成する。 ・予算額：4,000千円 ・対象経費：大型バス1台の借り上げ料及び高速料金 ・助成費：1校上限20万円(複数校合同での実施も可とするが、その場合も上限額は同額とする。) ※ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにバスの増便が必要と認められた場合は、2台分上限額40万円とする。	4,000
その他必要目的達成事業	○ 展覧会広告費 ・R5年度開催の企画展にかかるPR経費	3,500
	○ 企業パートナーシップ事業 ・特典イベント開催費、サインボード改修費、デジタルサイネージ更新費等	1,000
	○ 館活動充実費 ・オリジナルグッズ製作費等	900
企画広報活動	○ パートナー企業からの役務提供による広報活動 ・常陽銀行：全営業店舗のデジタルサイネージで全企画展の情報発信 ・関東鉄道：路線バスの車体広告で2企画展の情報を発信、竜ヶ崎、常総線の18駅でポスター掲出による情報を発信 ・茨城交通：路線バスの車体広告で4企画展の情報を発信	3,000